

平成28年度一般財団法人富山勤労総合福祉センター事業計画

1 運営方針

最近の景気については、このところ一部に弱さもみられるものの、緩やかな回復基調が続いているとされており、先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、一部海外経済の不確実性の高まり等に留意する必要があるものの、緩やかな回復に向かうことが期待されている。

このことから、当財団を取り巻く経営環境は比較的良好なもの、予断を許さない状況が続くものと予想されるが、各施設においては独立採算制を基本に、徹底したコストの削減を行う一方、それぞれの施設の特色を生かした魅力ある事業の展開や真心のこもったサービスを提供するとともに、開業2年目を迎える北陸新幹線の効果を最大限活用し、集客に努める。

(1) 呉羽ハイツ

このような経営環境の中、集客力、収益力を高め安定経営を目指すためには、多様化するお客様のニーズにあわせ、安全で魅力ある施設を作り上げていくことや質の高いサービスの提供が求められており、引き続き施設のリニューアルを計画的に実施するとともに、真心のこもったサービスやおいしい料理の提供に引き続き努める。

また、県内利用客の確保のため幅広い渉外活動を行うとともに、開業2年目となる北陸新幹線による需要に対応した魅力ある企画づくりに取り組み

- ① 施設環境を最大限活かした魅力ある企画づくり
- ② 顧客満足度向上のため、ロビー（喫茶コーナー）・売店のリニューアル
- ③ 地元の新鮮食材を活かした美味しい料理の提供
- ④ 「おもてなしの心」を基本とした質の高いサービスの提供

等を行う。

(2) とやま自遊館

本年4月に満19年を迎え、プレ20周年イベントとして各種企画事業を行い、集客を図ることとしている。また、今年度から新たに始まる「とやま自遊館経営改善計画」の目標達成に向け、開業2年目となる北陸新幹線による新たな顧客の確保等による売上の増と経費の節減に努める。

リフレッシュプラザにおいては、公益目的事業として、引き続き勤労者をはじめとする県民の健康増進のための事業等に取り組む。

さらに、「ヤングジョブとやま」については、若者の就業支援に係る企画運營業務を引き続き国及び県から受託し、若者の雇用確保に積極的に取り組むとともに、「とやまシニ

ア専門人材バンク」に係る企画運営、普及啓発業務を受託し、高齢者の就業支援等を行う。また、新たに人手不足分野における人材の掘り起こしや、人材育成、就労支援をおこなうための「富山県地域人材育成協議会事務局」の設置について、県から受託し、人手不足分野の就業支援等を行うこととしている。

2 重点実施事項

(1) 呉羽ハイツ

① 利用率の向上

- ア. 県内外の旅行業者及びネット旅行サイト会社に対して、積極的に売り込みを行う。
- イ. 県内企業及び各種団体等の渉外活動を強化し誘客に努める。
- ウ. 合宿プランが好評なことから 28 年度においても引き続き誘客に努める。
- エ. 県外からの宿泊者に対して、ご当地料理を提供し更なる誘客に努める。

② 利用者へのサービスの向上

- ア. ロビー（喫茶コーナー）・売店をリニューアルし、施設のイメージアップを図るとともに商品内容を充実させ顧客満足度を高める。
- イ. 27 年度に改装したレストランのオープンキッチンでのメニューを充実させ、作り立ての料理を提供する。
- ウ. 27 年度から利用を開始した、法要式場を本年度も引き続き PR することにより、利用者の利便性を高め法要利用の促進につなげる。
- エ. お盆や年末年始に各種イベント（夏祭り・年越しそば・新年餅つき大会等）を実施する。

③ 職員研修

- ア. フロント員をはじめ応接係を対象に現場研修を実施し、利用者へのサービスの向上を図る。
- イ. 調理師の技術向上のため、現場研修及び調理師会主催の調理研修に参加する。
- ウ. 定期的に防火訓練を実施し、職員の防火意識を高め安全・安心な施設づくりを行う。
- エ. 送迎バスの利用が増加しており、運転業務に当たる職員の交通安全教育を強化し安全運行に努める。

(2) とやま自遊館

① 利用増に向けた誘客・広報活動

- ア. オープン以来開設しているピアホールについては、新たなイベントなど魅力的な企画を実施し、更なる誘客に努める。
- イ. 景気の影響が少ない祝事、法要宴会等の受注に努める。特に法要については平日

の割引サービスを行うなど、受注拡大のためセールスを行う。

- ウ 引き続き商品券を販売し売上を確保するとともに、予約獲得を目指す。
- エ 週末に比べ利用の少ない平日夜間や閑散期の誘客策として、お得なプランを企画・提供することにより利用増を図る。
- オ 北陸新幹線開業効果を生かすために、県外客向けにホームページ等において自遊館の良さを積極的にアピールし、インターネットによる宿泊予約を推進し客室稼働率の向上に努める。
- カ 新聞、ラジオ、専門雑誌等の媒体を利用した広告を行うとともに、季刊誌（ちやお）やホームページを刷新するなどの広報活動を展開する。

② おもてなしの心が実感できるサービスの提供

- ア 職員研修等を通じ、お客様本位のサービスに徹する職員意識の高揚を図る。
- イ 富山の食材を使った越中料理や自遊館の特色である和洋折衷料理などお客様のニーズに合った多彩なメニューを企画・提供する。
- ウ シーズン割引プラン、宴会付割引プランなど利用しやすい宿泊プランを提供する。
- エ 県内著名作家による絵画・書の作品展等を開催する。

③ 健康増進に係る事業の実施

- ア 県内医療機関と連携した健康づくりサポート（運動療法、メディカルフィットネス、リハビリ支援等）を実施するとともに、生活習慣病の防止・改善や介護予防等を目的とした運動プログラムの提供を行う。
- イ 指定運動療法施設としてのメリットを生かした事業を展開し、新たな利用者ニーズの掘り起こしを図る。
- ウ **1ヶ月おためしプラン等を引き続き実施し**、入会者の増加と退会者の減少を図る。
- エ 企業等と連携して、生活習慣病予備軍対策や退職者を対象としたプランを打ち出し、利用者増を図る。

④ 経営改善への取り組み

- ア **今年度から新たに始まる経営改善計画を踏まえ、28年度**の経営改善計画目標の達成に向けて、しっかりとした進行管理を行う。
- イ 設備保守管理委託料等を見直し、経費の削減を図る。

⑤ 職業教育、職業相談等の提供

- ア ヤングジョブとやま
若者の就職に関する情報提供やカウンセリング、セミナー、トレーニング、職場見学、職場体験等を行う。
- イ とやまシニア専門人材バンク
就労を希望する専門的知識・技術等を有する高齢者を対象とする人材バンクを設置し、高齢者の就業と県内企業の人材確保を総合的に支援する。

ウ 富山県地域人材育成協議会

「ものづくり」、「介護・福祉」「建設」「観光」の人手不足分野において、コーディネータによる人材の掘り起こしや、企業実習等による人材育成、就業サポーターによる就労支援を一体的に実施し、人材の確保・育成を図る。

3 利用人員等目標

(1) 呉羽ハイツ

平成 28 年度は、利用人員 151,300 人（前年目標対比 100.5%）、営業収入 7 億 6,276 万円（前年目標対比 101.3%）を目標とする。

（単位：人）

区 分	平成 28 年度 目標人員 a	平成 27 年度 目標人員 b（見込）		比較 a-b
会議・研修	16,600	15,700	(17,000)	900
宿 泊	27,800	25,500	(27,500)	2,300
宴 会	45,300	46,100	(45,300)	▲800
休 憩	17,000	19,800	(18,000)	▲2,800
レストラン	13,000	12,500	(12,800)	500
喫茶・売店	28,000	27,000	(27,300)	1,000
そ の 他	3,600	4,000	(3,400)	▲400
合 計	151,300	150,600	(151,300)	700

(2) とやま自遊館

平成 28 年度は、利用人員 323,800 人（前年目標対比 99.3%）、営業収入 6 億 7,800 万円（前年目標対比 97.3%）を目標とする。

（単位：人）

区 分	平成 28 年度 目標人員 a	平成 27 年度 目標人員 b（見込）		比較 a-b
会議・研修	12,300	12,300	(10,700)	0
宿 泊	12,200	10,800	(13,200)	1,400
宴 会	28,300	28,300	(26,400)	0
レストラン	83,000	85,500	(77,600)	▲2,500
ホ ー ル	46,000	48,000	(44,500)	▲2,000
リフレッシュラザ	117,800	115,800	(118,900)	2,000
ヤグゾヨとやま	22,000	23,700	(20,500)	▲1,700
シニア人材バンク	2,200	1,800	(2,200)	400
合 計	323,800	326,200	(319,200)	▲2,400